

# 令和3年度（第18年度）事業報告書

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

特定非営利活動法人 子どもコミュニティネットひろしま

## 1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症に伴う活動自粛も3年目を迎え、消毒・マスク・換気といった基本的な感染対策を継続しつつ、with Coronaで活動を行ってきた。乳幼児親子の居場所であるオープンスペースも、人数制限、時間制限といった規制のなかで、昨年に引き続き7割程度の実施を行った。オンラインも併用しながらだったが、やはり実際に足を運ぶ家族がほとんどだった。シアター事業の再開は、密を避ける観点から、より慎重に状況判断を行い、今年度後半の1月から再開し、2回実施した。事前準備、当日の対策など神経を使いながらの実施だったが、参加者からは「久しぶりの生の体験はやはりいいね」という声がたくさん聞かれ実施した側としても達成感を感じることができた。幼児親子や小学生の活動も10歳以下の感染拡大が広がる中、実施するための創意工夫を重ねてきた。どの活動もそれぞれの居場所として必要な存在という思いで実施してきた。

コロナ禍で活動の見直しや、必要性など考えさせられる1年であったが、子どもたちも、サポートする大人も、いつの間にかこれが以前からの日常だったかのような錯覚に陥ることが多々あった。環境に馴染むことも必要な場面はあるが、慣れすぎて本来の姿が見えなくなる不安を感じる。人との距離感、感情を表す表情や表現、そういったことを抑制している（抑制させている）そのことに違和感を持ち続け、早く思いっきり笑ったり、大声を出したり、体をぶつけあったりできる環境を取り戻したいと願っている。

また、コロナ禍で活用を始めたオンラインの存在も、今後の活動の中で活かしていけるよう、継続して実施・検証していきたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
■子どもの自発性にもとづく社会参加の機会を広げる事業				
子ども参画型イベント	ヒロシマの孫たち 2021 ワークショップ	7月中旬～8月初旬 横川事務所 従事者 2人	中学生～大人 10人	0円
■子どもの文化・芸術体験、自然体験及び学びと交流等に関する事業				
子どもの体験事業	① シアター交流事業 ・朗読劇「ヒロシマの孫たち」2021  ・狩野泰一&林正樹 Duo ～昭和・平成のうたを篠笛とピアノで～ ・広島市補助事業 オペラシアターこんにやく座 「こんにやくざのおんがくかい」	8月5、6日（木、金）3回公演 アステールプラザ市民ギャラリー（従事者：8人） 2022年1月24日（月） ゲバントホール（従事者2人） 3月6日（土） アステール視聴覚スタジオ （従事者8人）	幼児～大人 118人  学生～大人 9人  幼児～大人 71人	1,182千円
	② アーツ交流事業 ・おやこサークル「わくわくぼっけ」  ・おやこ体験ひろば「あるて」  ・えほんであそぼう「ゆるぐ」  ・とにかくクラフト「なびなび」	原則 第2・第4火曜日 （今年度は3回開催） 横川事務所（従事者：2人） 今年度 9回実施 横川事務所（従事者：3人） 今年度 6回実施（5回/月） 横川事務所4回、廿日市市民活動センター1回 （従事者：5人） 今年度 6回実施 廿日市市民活動センター （従事者：2人）	1歳半～3歳 親子 延20組  3歳～未就学親子 延38組  小学生 延140人  高校生～大人 延28人	547千円
■子育て支援に関わる事業				

子育て支援事業	・子育てひろば「ころろ」	毎週 火～土 10:30～15:30 (年間 170 日開催) コロナ禍で 70 日休業 西区横川 川崎ビル 3 F (従事者 11 人)	0～3 才親子 3,641 人 大人 1,783 人 小人 1,858 人	7,898 千円
■子ども、文化、コミュニティに関する情報収集・発信、人材育成				
情報収集、 発信、	・HP・ブログ作成、発信 ・メルマガ発信	ブログ 毎日更新 2回/月定期&適宜(従事者1人)	会員及び一般	0 円
■子ども、文化、コミュニティに関わるネットワーク・協働事業				
共同・協働 事業	三篠公民館共催事業 ・ZOOM でママトーク  ・オンライン赤ちゃんといしょ  ・げきじょう団体共済	9月～(1回/月) (従事者1人)  3月(1回/週×4回) (従事者1人) 事務所内 (従事者1人)		2 千円

計 9,629 千円